

平成 20 年 度

# 那須烏山市予算の概要

平成 20 年 2 月

那 須 烏 山 市

# 平成20年度 那須烏山市予算の概要

## I 予算編成にあたって

本市の財政状況は、市債残高が増嵩するとともに経常収支比率が高率に推移するなど、財政の硬直化が進んでいます。歳入については、根幹である市税収入が景気回復などにより若干の伸びが見込まれるものの、地方交付税、臨時財政対策債や国・県補助金の縮減・廃止などにより歳入確保が一層厳しい状況にあります。一方、歳出については、市債の償還金、少子高齢化社会の進展による扶助費、医療費の増加に伴う国民健康保険や介護保険等の特別会計への繰出金などの増嵩が見込まれることから、従来にも増して厳しい財政運営が続くものと予測されます。

このような中で、市民福祉の向上と公平で安心な行政サービスを維持するためには、事務事業全般の見直しを行い、行政改革を一層推進し、新たな行政需要に対応するなど、簡素で効率的な行財政運営に取り組むことが求められています。

このことから、平成20年度の予算編成に当たっては、新たに策定された「那須烏山市総合計画」に基づき、「ひかり輝くまちづくり」の実現を目指し、この計画に掲げる施策を着実に推進するために、歳出・歳入全般にわたり徹底した見直しを行い、限られた財源の効果的・効率的な活用に努めることに留意し編成しました。

## II 予算概要

平成20年度の那須烏山市一般会計予算額は109億8,800万円で、前年度と比較すると3億8,800万円、3.7%の増となりました。なお、公的資金の繰上げ償還に伴う借換債2億30万円を除いた実質的な伸び率は1.8%となります。

### □予算の特徴

総合計画スタートの年。計画の実現に向けた、本格的予算である。

- ①合併特例債及び道整備交付金事業の推進
- ②子育て支援、高齢者及び障がい者福祉の充実
- ③学校統合の推進
- ④教育の充実
- ⑤定住促進及び企業誘致の推進
- ⑥公的資金の繰上げ償還

また、一般会計と8つの特別会計の総額は177億8,610万円となり、前年度と比較すると17億230万円、8.7%の減となりました。

8つの特別会計の予算総額は67億9,810万円となり、23.5%の減となります。主なものでは、国民健康保険特別会計（事業勘定）が32億8,420万円で6,620万円、2.0%の減、老人保健特別会計が3億1,340万円、88.8%の減、新たに創設される後期高齢者医療特別会計の予算額は3億470万円となっています。簡易水道特別会計は3億1,350万円で、繰上償還に伴い1億7,410万円の大幅な増となっています。

---

### Ⅲ 一般会計歳入予算について

---

歳入の主な項目については、市税は個人市民税、法人市民税及び固定資産税を中心に若干の伸びを見込み、前年度比7,425万円、2.5%増の30億7,299万6千円を計上しました。

地方譲与税においては、自動車重量譲与税及び地方道路譲与税ともに減額を見込み1億6,900万円といたしました。

地方交付税は、実質的な地方交付税の総額が前年度と同額程度を確保できたことなどを精査し、前年度と比べ4,000万円、1.1%増の37億4,000万円を計上いたしました。

一方、国庫支出金は主に、道路整備事業の本格化に伴い道整備交付金が増額となったことにより、前年度より6,102万5千円の増加となりました。県支出金は合併後3年間交付されていた市町村合併特別交付金が終了したことなどにより、大幅減額となりました。

繰入金については、公的資金の繰上げ償還の一部に減債基金を充てるとともに、財源不足分を財政調整基金から繰り入れることとし、前年度と比べ4,528万1千円増の4億2,800万6千円を計上しました。

市債は、前年度より4億5,480万円多い12億9,680万円で、その要因は公的資金借換債2億30万円が新たに加わったことや、市道整備等に伴う合併特例債7億580万円の発行によるものです。

---

### Ⅳ 一般会計歳出予算について

---

本年度の歳出予算は、引き続き行財政改革を断行するとともに、総合計画の実現にむけ選択と集中により、諸施策を推進することとしました。

総務費は、前年度と比べ4,827万7千円（4.1%）の減となっています。これは定住促進対策事業が新たに増額となったものの、職員の退職等に伴う職員人件費の減を見込んだことによるものです。

民生費は、5,877万円（2.1%）増の29億1,060万1千円となっています。これは後期高齢者医療制度の創設により、老人保健及び国民健康保険特別会計繰出

金が増減したことや、旧野上小学校への向田保育園移設整備事業によるものです。

衛生費は、9,065万9千円(6.8%)の増となっています。主な要因は那須南病院及び環境衛生費(斎場)に係る広域行政負担金の増を見込んだことによるものです。

農林水産業費は、前年度と比べ2億5,278万8千円(41.1%)減の3億6,220万5千円となっています。これは畜産基盤整備事業費の減額によるものです。

土木費は、2億2,351万6千円(20.0%)増の13億4,069万3千円となっています。これは道整備交付金及び合併特例債を活用した道路整備事業に本格的に着手することに伴い、大幅な増となったものです。

消防費は、3,461万8千円(6.3%)増の5億8,454万9千円となっています。これは消防自動車及び小型ポンプの更新や、防火水槽築造工事等に伴い増額となったものです。

教育費は、前年度と比べ7,159万7千円(6.2%)の増となっています。これは教育特区推進事業が新たに加わったことや、烏山小学校体育館改築に係る設計費及び向田公民館整備事業費等を計上したことによるものです。

---

---

## V 性質別経費の状況

---

---

人件費は、前年度と比べ9,713万1千円(3.8%)の減となっています。これは職員数の削減や、引き続き特別職給料の削減、時間外手当等の抑制に努めたことによるものです。

物件費は、5,213万3千円(4.5%)減の11億141万7千円となっています。これは委託料及び需用費等の減によるものです。

補助費等は、前年度と比べ4億601万4千円(23.4%)の増となっています。主な要因は後期高齢者医療給付費負担金、那須南病院に係る広域行政負担金の増によるものです。

普通建設事業費は、前年度と比べ1億9,624万9千円(17.7%)増の13億721万9千円となっています。これは道整備交付金及び合併特例債を活用した道路整備事業に本格的に着手したことによるものです。

公債費は、前年度と比べ2億51万7千円(14.2%)増の16億1,350万円となっています。これは公的資金の繰上げ償還金2億5,231万9千円を計上したことによるものです。

繰出金は、前年度と比べ3億1,619万円(25.6%)減の9億2,106万5千円となっています。これは後期高齢者医療制度の創設により、老人保健及び国民健康保険特別会計繰出金が減したことによるものです。

---

---

## VI 重点及び新規事業等

---

---

●は新規事業

### 【重点事業】

1 合併特例債及び道整備交付金を活用した道路整備事業	817,960千円
●2 新向田保育園・向田公民館整備事業	150,700千円
●3 烏山小学校体育館改築事業（耐力度調査及び実施設計）	22,000千円
●4 障がい者及び高齢者福祉タクシーの実施	15,711千円
5 こども医療費助成事業（小学校修了前まで拡大）	65,337千円
●6 こんにちは赤ちゃん祝金支給事業（第2子以降20万円支給）	15,008千円
●7 定住促進奨励金	25,000千円
●8 企業立地奨励金	23,700千円
●9 教育特区事業（英語コミュニケーション科・ALT7人配置）	36,491千円
●10 公的資金の繰上げ償還	252,319千円

### 【主要事業】

●1 市民憲章制定	27千円
2 防犯施設整備費	300千円
●3 境小学校で学童保育実施	4,772千円
4 各種医療費助成事業（自己負担1レセプト500円補助） （重度心身障害者、ひとり親家庭、妊産婦、こども医療費）	125,697千円
5 特定不妊治療費助成（15万円 5年）	750千円
6 妊婦健診の充実（5回まで無料）	5,712千円
7 後期高齢者医療制度事業費	287,363千円
8 高齢者福祉の充実（敬老会、福祉年金等支給）	17,188千円
9 高齢者生きがい対策の充実（老人クラブ、福祉バス運行等）	6,206千円
10 浄化槽設置整備費	51,872千円
11 簡易水道事業特別会計繰出金	54,902千円
12 水道事業会計繰出金	89,179千円
13 環境基本計画策定	2,654千円
14 畜産基盤再編整備事業の推進	12,902千円
15 農地振興費	12,589千円
16 県単独土地改良事業	14,782千円
17 農林水産特産物開発事業	1,000千円
18 林道整備	18,540千円
19 県営圃場整備事業	7,308千円
●20 元気な森づくり事業(森林環境税交付事業)	5,001千円

21 全市花公園づくり事業	1,000千円
22 まちづくり団体支援事業	3,400千円
23 まちづくり産学官連携事業	1,720千円
24 新事業創出支援事業	4,010千円
25 商工振興資金貸付事業	71,841千円
26 ふれあいの道づくり事業	5,000千円
27 消防施設整備事業	23,144千円
●28 すべての小中学校に除細動器（AED）を配置	2,940千円
●29 奨学金給付事業（大学生まで拡大、給付方式に改正）	2,800千円
●30 小学校統合事業の推進（新境小開校、七合小・興野小統合）	2,966千円
●31 向田公民館解体工事費	10,300千円
32 サタデースクールの実施	5,485千円
33 郷土教育の推進	1,000千円
34 行財政改革の断行（職員数の削減、補助金・交付金の見直し）	

---



---

vii その他

---



---

1 基金繰入金

・ 財政調整基金	370,000千円
・ 富士見台工業団地整備管理基金	1,000千円
・ 減債基金	57,000千円
計	428,000千円

2 財政調整基金残高（20年度末見込） 700,000千円

3 市債

・ 林道整備事業債	8,500千円（合併特例債）
・ 市道整備事業債	529,500千円（合併特例債）
・ 辺地対策事業債	60,000千円（辺地債）
・ 消防施設整備事業債	39,500千円（合併特例債・施設整備事業債）
・ 臨時財政対策債	326,000千円
・ 公的資金借換債	200,300千円
・ 児童福祉施設整備事業債	104,500千円（合併特例債）
・ 社会教育施設整備事業債	28,500千円（合併特例債）
計	1,296,800千円（うち合併特例債 705,800千円）

4 ・ 一般会計市債残高（20年度末見込） 11,990,592千円

・特別会計/企業会計市債残高(20年度末見込)	8,515,367千円
計	20,505,959千円

## 5 特別会計繰出金

・国民健康保険特別会計(事業勘定)	134,751千円
・国民健康保険特別会計(診療施設勘定)	15,778千円
・老人保健特別会計	30,176千円
・後期高齢者医療特別会計	60,216千円
・介護保険特別会計	301,987千円
・農業集落排水事業特別会計	35,049千円
・下水道事業特別会計	198,409千円
・簡易水道事業特別会計	54,902千円
・水道事業	89,179千円
計	920,447千円

## 6 特別会計及び企業会計の概要

### (1) 国民健康保険特別会計(事業勘定)

・予算額	3,284,200千円(▲2.0%)
・被保険者数	10,313人(5,209世帯)(年平均見込み)
・国民健康保険税	963,228千円
・保険給付費	2,067,822千円
・一般会計繰入金	134,751千円

### (2) 国民健康保険特別会計(診療施設勘定)

・予算額	98,800千円(3.9%)
・診療収入	81,647千円
・総務費	49,904千円
・医業費	37,945千円
・一般会計繰入金	15,778千円
・市債残高(20年度末見込)	8,004千円

### (3) 熊田診療所特別会計

・予算額	59,100千円(▲6.2%)
・診療収入	48,068千円
・総務費	39,832千円
・医業費	17,698千円

・運営基金繰入金	10,660千円
(4) 老人保健特別会計	
・予算額	313,400千円 (▲88.8%)
・医療給付費等	300,000千円
・一般会計繰入金	30,176千円
(5) 後期高齢者医療特別会計	
・予算額	304,700千円 (皆増)
・被保険者数	4,860人
・保険料	223,063千円
・広域連合納付金	276,245千円
・一般会計繰入金	60,216千円
(6) 介護保険特別会計	
・予算額	1,962,500千円 (0.6%)
・認定者数	1,187人 (平成20年1月末)
・保険料	304,816千円
・保険給付費	1,850,251千円
・地域支援事業費	37,799千円
・一般会計繰入金	301,987千円
(7) 農業集落排水事業特別会計	
・予算額	56,900千円 (6.6%)
・使用料	11,200千円
・総務費	24,055千円
・一般会計繰入金	35,049千円
・市債残高 (20年度末見込)	387,070千円
(8) 下水道事業特別会計	
・予算額	405,000千円 (▲10.0%)
・下水道事業負担金	11,082千円
・使用料	32,330千円
・総務費	71,290千円
・事業費	158,150千円
・一般会計繰入金	198,409千円

・市債残高（20年度末見込） 2,779,094千円

（9）簡易水道事業特別会計

・予算額 313,500千円（124.9%）  
・水道収入 76,208千円  
・総務費（維持費） 54,092千円  
・水道整備費 1,780千円  
・一般会計繰入金 54,902千円  
・市債残高（20年度末見込） 579,394千円

（10）水道事業

・水道収入 590,615千円  
・建設改良費 78,278千円  
・一般会計繰入金 89,179千円  
・企業債残高（20年度末見込） 4,761,805千円